

登録コード	UAC16500	開講年度	2026			
授業題目	文化情報論研究				担当教員	佐藤 広英
					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・1時限	
			授業形態	講義		
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】	
	2 6 UAカリ・総人社・人間文化学, 2 5 UAカリ・総人社・人間文化学					
	【人間文化学】人間文化に関する文献・資料を収集・調査し分析・考察する人文学の伝統的な手法を身につけるとともに、他の学問分野の解析手法を併せて修得することによって、複雑多様化する現代社会の課題に柔軟な対応ができる応用力を有する。				メディアコミュニケーションに関わる研究手法・解析手法を説明できるようになる	
	【人間文化学】高度な言語運用能力とコミュニケーション能力を基盤として、多領域のステークホルダーと協働し、現代社会の課題に取り組みながら、独創的かつ多文化共生的な英知の創成と提案を行う力を有する。				メディアコミュニケーションに関わる諸問題について、データや事例を用いて分析し、その内容を論理的かつ適切に表現できるようにする。	
	【人間文化学】人間と社会を探究する学問分野間の総合的な知見を活かし、俯瞰的な視野で課題を捉える力を有する。				メディアコミュニケーションに関わる諸問題を客観的・学問的に捉えられるようになる	
(2)授業の概要	我々は、スマートフォンやテレビ・ゲームなどを用いたメディアコミュニケーションを行っている。この授業では、メディアコミュニケーションに関わる諸問題（例えば、ネット依存、ネットいじめ）に関する新聞記事や文献を購読し、受講者とのディスカッションを行う。本授業を通して、メディアコミュニケーションに関する理論や概念、代表的な研究手法を習得すること、諸問題を客観的・学問的に解明し、独自に理論を構築する能力や仮説を検証する社会的応用能力を身につけることを中心的な課題とする。なお、本授業への参加のためには、学部卒業レベルの推測統計学・多変量解析などを理解していることを必要とする。					
(3)授業計画	第1回 ガイダンス 第2回 マスメディアに関する諸問題と研究の概観 第3回 テレビ利用に関する諸問題と研究の概観 第4回 ゲーム利用に関する諸問題と研究の概観 第5回 インターネットに関する諸問題と研究の概観 第6回 SNSに関する諸問題と研究の概観 第7回 文献発表（乳幼児のメディア利用） 第8回 文献発表（乳幼児のメディア利用）に関するディスカッション 第9回 文献発表（テレビ・ゲームの教育的利用） 第10回 文献発表（テレビ・ゲームの教育的利用）に関するディスカッション 第11回 文献発表（ネット依存） 第12回 文献発表（ネット依存）に関するディスカッション 第13回 文献発表（ネットいじめ） 第14回 文献発表（ネットいじめ）に関するディスカッション 第15回 まとめ、総評 文献発表の内容は一例であり、学生の興味・関心に応じて柔軟に変更することとする。					
(4)成績評価の方法	授業への参加度（報告、ディスカッション）（100%）を基に、メディアコミュニケーションに関する心理学的研究の基礎理念や研究手法の理解度を評価する。					
(5)成績評価の基準	「卓越している（S）」：文献を発展的に理解でき、メディアコミュニケーションに関わる諸問題について自己の主張を的確に表現できる。 「かなり上にある（A）」：文献を十分に理解でき、メディアコミュニケーションに関わる諸問題について自己の主張を的確に表現できる。 「やや上にある（B）」：文献を十分に理解でき、メディアコミュニケーションに関わる諸問題について自己の主張を表現できる。 「その水準にある（C）」：文献を最低限に理解できる。					
(6)事前事後学習の内容	事前学習として、次回発表予定の文献に目を通しておくこと。事後学習として、授業時に分からなかった部分を自主的に調べ、文献の理解を深めること。					
(7)履修上の注意	連絡、指示などは信州大学e-LearningプラットフォームeALPSシステムを利用する。					
(8)質問、相談への対応	質問や相談はオフィスアワー（火曜12時30分～13時30分）に対応する。（連絡先：hirotsune@shinshu-u.ac.jp）					
【教科書】	指定しない。					
【参考書】	Joinson(2007)The Oxford Handbook of Internet Psychology, Oxford University Press Dill(2012)The Oxford Handbook of Media Psychology, Oxford University Press その他、適宜紹介する。					